	△の数	訂正記事	担 当	検 図	年月日		△の数	訂正記事	担 当	検 図	年月日
△						△					
△						△					

適 用 規 格

定 格	使用温度範囲	−55℃ ～ +105℃ (注1)	保存温度範囲	−10℃ ～ +60℃ (注3)
	使用湿度範囲	20% ～ 80% (注2)	保存湿度範囲	40% ～ 70% (注3)
	適合コネクタ	DF51K#-14DP-2DSA/DS(###)	電 流	AWG 30: 0.5A AWG 28: 1A AWG 26: 1.5A AWG 22-24 : 2A
	適合端子	DF5K1-22SC(A)/SCF(A) (###) DF51K-2428SC(A)/SCF(A) (###) DF5K1-30SC(A)/SCF(A) (###)		

性 能

項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造				
外観,構造,仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	o	o
表示	目視にて確認する。		o	o
電気的性能				
低電圧、低電流下の接触抵抗	20mV 以下, 1 mA (DC又は 1000 Hz)で測定する。	30 mΩ 以下	o	−
絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	1,000 MΩ 以上	o	−
耐電圧	AC 650 Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡･絶縁破壊がないこと。	o	−
機械的性能				
繰り返し動作 (Snメッキ)	30 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗: 30 mΩ 以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	o	−
繰り返し動作 (Auメッキ)	50 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗: 30 mΩ 以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	o	−
結合力及び離脱力 (Snメッキ)	適合コネクタで測定する。	①結合力 : 64.2 N以下 ②離脱力 : 3.7 N以上	o	−
結合力及び離脱力 (Auメッキ)	適合コネクタで測定する。	①結合力 : 41.2 N以下 ②離脱力 : 3.5 N以上	o	−
耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 10サイクル試験する。	①1μs以上の電気的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	o	−
耐衝撃性	加速度 490 m/s^2、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 軸両方向 各 3 回試験する。		o	−
コンタクトの引抜き力	ハウジングを固定し電線を引張った際の強度を測定する。	11.8N以上	o	−
環境的性能				
定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃、湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。 (室温に1～2時間放置後測定)	①接触抵抗:30 mΩ 以下 ②絶縁抵抗:500 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	o	−
温度サイクル	温度 −55 → 105℃ 時間 30 → 30分 を 5 ｻｲｸﾙ 試験する。 槽の移し変えは時間は2～3分 (室温に1～2時間放置後測定)	①接触抵抗:30 mΩ 以下 ②絶縁抵抗:1,000 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	o	−
耐熱性	温度 +105 ± 2℃中に96時間放置する。		o	−
耐寒性	温度 −55 ± 3℃中に96時間放置する。		o	−

備考
(注1) 通電時の温度上昇を含む。
(注2) 結露のないこと。
(注3) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。
基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用。

	製 図	担 当	検 図	承 認	リリース
	J.S CHOI	J.S CHOI	S.M.LIM	T.S KANG	ENG 20. 02. 17 DEPT
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。	17.12.22	17.12.22	17.12.22	17.12.22	

注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目

HIROSE KOREA CO.,LTD.	製 品 規 格 表	製品名 DF51K-14DS-2C (800)

ｺｰﾄﾞ NO.(OLD)	図番.	製品ｺｰﾄﾞ	
CL	JLC4-632498	CL 6652-0030-0-800	1/1

F-1-021(Rev.0)

Mar.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。